

令和5年度 浜松市立北浜南小学校 学校評価報告書

1 自己評価

自己評価結果、考察及び改善方策
別紙（学校便り）のとおり

2 学校関係者評価

2月6日（火）に開催した学校運営協議会において、自己評価結果、考察及び改善方策について委員に報告した。委員からは以下のような意見があった。

- ・ 挨拶をすると笑顔になる、笑顔が増えると心が豊かになる、と思うのできちんと挨拶ができるようにさせたい。
- ・ 学校では緊張している子供が多く、家庭と学校での様子が違うのは当然。学校の様子を家庭にもっと発信できるとよい。
- ・ 子供が自主的に活動するためには、教師があれこれ準備するだけでなく、子供に考える余地を与えることが大事。多少の失敗もある程度見逃してやることで考える子供が育つと思う。
- ・ 数値以上に先生方が子供たちを見てくれている。これからもデータをとりながら子供たちの様子をみてほしい。
- ・ 人間関係作りが難しい時代になっている。今の子供は乱暴な言葉に免疫がない。言葉が強い子に対してあったか言葉のような指導が必要。強い言葉を言われた子に対しても、しなやかに立ち上がることができるような支援をしてほしい。
- ・ 朝の読み聞かせをしているボランティアの人数は集まっているのか。
- ・ 読書に関する取組みを教えてほしい。

3 学校関係者評価を受けて

学校関係者評価を基に、以下の点について改善を図る。

- ・ 今年度も行ったあいさつに関する活動を推進し、多くの子供が進んであいさつできる雰囲気づくりをする。
- ・ 年度初めに保護者に読み聞かせボランティアを募集したり、学校運営協議会の方で呼びかけてもらったりして読み聞かせをしてくださる人数を増やす。
- ・ 図書館補助員と連携して、児童の学校での読書の様子がわかるように、学期ごと読書カードを家庭に持ち帰り、保護者に見てもらう。
- ・ さくら連絡網を活用し、学校だより・学年だよりで学校の様子を保護者に発信する機会を増やす。（本校はブログをやっていないため）
- ・ 南っ子あいあい（㊦いさつ・㊧じめ〇・㊨ったか言葉・㊩っ生懸命）を推奨し、いじめが起きにくいあたたかな集団作りを行う。
- ・ いじめ対策については、定期的に行っている生徒指導委員会やいじめ対策委員会で情報共有をし、問題が起こったら迅速な対応を行うようにする。